

JUNGIDO

遵義の桜、咲いて100年

1898 = 桜 = 1996

1998年は創立100周年です

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所2-11-1
 TEL0775-24-4295・0775-23-2304 (校友課) FAX0775-24-1732
 発行日/平成8年11月15日
 編集人/広報部会・谷口啓司
 印刷/有限会社服部印刷所

CONTENTS

創立100周年を目前にして	1
平成8年度総会報告	1
100周年実行委員会部会報告	2 3
周年同窓会予告	3
アトランタオリンピック壮行会	3
年代別座談会開催報告	4 5
卒業年別同窓会費納入状況	4 5
周年記念同窓会開催報告	6
紛らわしい名簿調査にご注意を	7
膳所NEWS	8

VOL. 9

創立100周年記念式典日
平成10年11月7日(土)に向けて
がんばっています
 100年史記録部会

100年史記録部会は、毎月充実した部会を開き、また、これまでに通算6回の座談会を開催するなど、100年史の編纂に向けて一歩一歩着実に前進を続けています。

既報の歴代校長座談会の後、去る3月20日(水)には林校長時代に教鞭を執っておられた先生方をお招きし、旧職員座談会を開催。4月27日(土)には戦時下に膳所で学び、学徒動員を経験されて来られた方々の体験を伺い、また6月29日(土)には主に「大津高校」と呼ばれていた頃の卒業生の方々に集まりいただき、戦後の混乱と自由の到来とに直面した創成期の新制高校の姿を伝えていただきました。

9月28日(土)には、大正から昭和の初期にかけて膳所に学ばれた皆様をお迎えし、貴重なお話を伺う機会を得ました。当時の学校や登下校時の様子はもちろん、当時の先生が話しておられた言葉まで鮮やかに記憶をさつておられ、また当時学んだ英語は、今日でも役に立っておられるとのことでした。10月19日(土)には大津東高時代から膳所高校初期に在学しておられた方々のお話を伺いました。

本来は100年史のための取材の場として計画された座談会ですが、同窓生の方々が久々に顔を合わせればそこは旧交を温めるちよつとした同窓会の場ともなり、また皆で中学・高校時代の思い出を振り返る時間は何か若々しく清らかな空気に包まれて、毎回余韻のある感動的な座談会となっています。

100年史については学校側でも先生方が調査項目を分担されて、夏休みの前頃から教育及びクラブの歴史の調査が始まっています。部会と学校の協力により、編纂事業は一段と進展を見えています。(谷澤)

「創立100周年を目前にして」



100周年実行委員会
 常任委員長 飯田 勝一

明治31年(1898年)4月1日、膳所の地に

「滋賀県立第二尋常中学校」を設立されて以来、平成10年に100周年を迎えることになる。本校が創立当時、県立の中等学校は膳所に師範学校(現、滋賀大学教育学部)と近江八幡に八幡商業学校(現、八幡商業高校)、彦根に第一尋常中学校(現、彦根東高校)の3校のみであったと聞いている。また、本校でも創立時の入学者は102名で、このうち卒業者は僅か46名という記録が



残されている。昨今の県内高校数や進学者数などから見れば、まさに隔世の感がする。

過般、創立100周年を迎えられ、既に、記念式典や諸行事を終えられた前期に彦根東高校および八幡商業高校を本校同窓会役員で訪問し、創立100周年記念事業の概要などについて両校々長・関係者から詳細説明を受けた。さすがに伝統に輝く両校の重みを実感することができた。本校の創立100周年記念事業の実施に当たっては、彦根東・八幡の記念事業なども十分参考にしたいと考えている。

100周年実行委員会では、現在、学校当局、同窓会、PTAの三者により「記念式典」「100年史記録」「組織名簿」「募金推進」「環境・施設整備」「広報」の各部会を編成して、それぞれの部会で鋭意準備を進めている。同窓生各位のご理解とさらなるご協力・お力添えをお願い申し上げます。

会費納入ありがとうございました。

同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました平成8年度の同窓会会費は、平成8年9月末日現在、

総額 **13,495,000円**

となっています。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。

会員の皆様のご理解ご協力に感謝いたしますと共に、ますますのご支援をよろしく願っています。

今回、平成8年度会費が未納の方には振替用紙を同封させていただきましたので、ご納入のほどよろしく願います。本会報と行き違いにご納入いただいた際には、悪しからずご容赦ください。会費納入の詳細については7ページをご覧ください。

平成8年度同窓会総会が、去る5月12日(日)、大津プリンスホテルに於いて開催されました。午前10時30分より受付、午前11時、宇野敬一副会長の開会宣言により開会。校歌斉唱、物故者黙禱と続き、同窓会長の宇野勝氏があいさつ。二年後に迫りつつある100周年記念事業の進捗状況を報告、ご協力をお願いしました。

引き続き、学校長の武原博先生より、ごあいさつと学校の近況をご報告いただきました。

その後本校教職10年以上の勤続職員に感謝状が贈呈されました。

議事に入る前に、先ず飯田勝一常任理事長を議長に選出、以下の項目が満場一致で議決承認されました。

- (1)平成7年度会務報告
- (2)平成7年度会計報告並びに会計監査報告
- (3)平成8年度事業計画並びに予算

議事終了後、膳所高10回卒の吉澤健氏(前大阪府副知事)による「地方分権の行方、我が体験的地方自治論」という演題の講演がもたれました。

講演終了後懇親会に移り234名の同窓により盛大な交流会がもたれました。

(当日の総会出席者数は255名でした。)

尚、総会に先立って、理事会が開催され、総会提出の議案等を審議、議決しました。

(新川)

総会報告

来年度の総会は5月11日。総会は毎年5月の第2日曜日です。多数のご参加をお待ちしています。

100周年実行委員会 部会報告

同窓会の皆さまのご協力を



記念行事式典部会

本部会の進行状況は前号の時点と第1部(式典)第2部(祝宴)共に殆んど基本方針に変更はありません。重複するところもありますが報告いたします。

「決定案」

基本方針 在校生にも有意義になるよう、晴雨に拘らず円滑に実施できるよう、準備段階も含め、学校本来業務に支障がないように配慮する。

期 日 平成10年11月7日(第1土曜日)

式 典 時間内容 午前8時30分受付(記念公演) 午前11時40分

参加者 生徒、現教職員、PTA、旧職員、来賓、同窓会員

場所 候補 びわ湖ホール(平成10年完成予定)

候補 県立体育館

式典会場は両候補どちらかに決まりそうです。記念公演(生徒の情操教育の一環として)「京都市交響楽団」の予定です。

祝 宴 時間 正午受付(午後3時)

参加者 同窓会員、現教職員、PTA、旧職員、来賓、合計約500名

場所 候補 びわ湖ホール(平成10年完成予定) 候補 プリンズホテル

祝宴(懇親会)の内容としまして、膳所高吹奏楽班による「歴代校歌等」の演奏、祝辞、各卒業生の近況、活動報告等を考えています。

100周年がより意義あるものとして、そして又それぞれの心に深く残るものになる様委員一同祈願しております。

皆様も多面にわたりご協力下さいますようお願いいたします。

(担当部員 田中)

100年史記録部会

100年誌記録部会では、毎月第2水曜日に定例会を、また、2月より月1回のペースで座談会を開いています。座談会を開くことにより、同窓生の方々より在校当時の様子や世情をつぶさにお聞きしながら、それぞれの時代の教育方針や学校の状態について、既に記録されていることを確認することも出来て大変有意義であると感じています。

座談会の開催経過は一面にも記載しておりますが、2月13日の歴代校長座談会に始まり、第2回目は3月に旧職員の座談会として各教科ごとの先生に出席していただきました。4月には戦時中に膳所中学時代を過ごされた方々の戦時下の厳しい、苦しい、生々しい体験話を聞かせてもらい熱気溢れる座談会でありました。第4回目は6月に学制改革によって新しい膳所高、大津高となった過渡期を過ごされた一番戸惑いのあった学校時代を聞くことが出来ました。9月には第5回目を開催し、小島氏に94才という高齢を押し西宮市からご出席いただき、伝統ある母校を敬愛される姿に感銘を受けました。また同氏より100周年のお祝いとして、寄附の第1号を拝受しましたこともご紹介させていただきます。本当にありがとうございます。

第6回目は10月19日に、大津東1回より膳所高9回卒までの方々にご出席いただき、当時の学校新聞や成績簿など興味深い資料もお見せいただき

ました。

6回の座談会により全く分らなかったことの判明やそれぞれの時代の学校の在り方や教育方針が国の政策によって、如何に変わって行ったかをつくづく感じさせられ、座談会をすることによって得られたことを記念誌を作るにあたり、大いに参考にさせていただけるものと思います。

今後も卒業年度の順を追いながら座談会を開催し、教育史の参考として、また、同窓会史には、その概要を掲載させていただくべく編集を進めてまいりたいと考えております。

ご出席いただきました皆様方に心から御礼申し上げますとともに、同窓生の皆様方には、今後とも資料やお写真などのご提供など、一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(担当部会長 上野)

組織名簿部会

平成8年4月1日から9月30日までの部会活動を報告します。取り組み内容は以下の3点についてです。

1 100周年記念事業実行委員名簿の作成

(平成8年7月25日)

その第一段階として、学校、PTA、同窓会での実行委員名簿を作成した。

区分	総数(名)	内、同窓会員(名)	会員外(名)
学校	37	22	15
PTA	17	5	12
同窓会	1,326	1,326	0
計	1,380	1,353	27

2 名簿発刊について骨子が決まる

(平成8年8月21日)

- ①名簿の発刊責任部署は組織部会
- ②名簿の発刊は、同窓会事業とし、平成10年に出版する
- ③その他、詳細については目下検討中(次号で報告する)

3 組織名簿部会としての今後の取り組みについて

- ①JUNGI DO 8号(前号)発送後判明した住所不明者(2,917名)に対する住所の確認を各学年の世話役に依頼

- ②100周年記念事業実行委員の第二段階(部活OB、地域別、職区域別)委任
- ③名簿発刊について

(担当部員 本多)

募金推進部会

7月9日に開催された創立100周年記念事業実行委員会部会長会議に於て、同窓会会員並びに関係各位宛の募金の要請書(案)が基本的には承認されました。但し、要請書の中の記念事業計画書(案)の記念事業概要については、もう少し具体的な事業を発表するというところで関係部会で協議されています。また、要請書は「企業及び団体」宛は別に作成することとし、税法上の取扱いについても検討中であります。

尚、募金目標額は1億円とし、募金期間は当初計画より遅くなり平成9年春より1年間とするという案で調整中であります。(担当部会長 石川)

環境・施設整備部会

当部会としては数回に亘り部会を開催し、これからの募金活動にも重大な影響を与える案件であるとの認識から、100周年記念として相応しい事業をと、次の4案を部会長連絡会議に提案いたしました。

- (1)グラウンドの施設拡充
- (例) 部室の整備、夜間照明灯の設置等
- (2)セミナーハウス建設に係わる同窓会室の整備
- (3)校舎改築に伴う記念コーナリの整備
- (例) 校門石柱の保存、記念モニュメント等
- (4)教育振興基金の創設
- (例) 21世紀対応マルチメディア、研究促進助成等

(1)、(2)、(3)とも県教育委員会(行政)と絡む事業であり、多分に不確定要素を含んでいるため確定ではありません。

同窓生各位より、すばらしい事業案があれば、実行委員会総会までにご提案ください。

(担当部会長 阪田)

広報部会

「遵義の桜、咲いて100年」のキャッチフレーズのもと、広報の展開を組立て、いよいよ実施に向けて進める時期となりました。

現在計画にあるのは、校内でのキャッチフレーズを基本とした校舎壁面の垂れ幕、PR柱、各種大会催し会場での横断幕PR、郵便局、銀行窓口などに置くことのできる三角錐の寄付振込み可能な表示、同窓会発送の封筒へのキャッチフレーズ印刷、同窓生関係事業所でのポスター掲示等々。検討しなければならぬことが沢山あります。良き案がありましたら、ぜひとも同窓会事務局へご一報ください。デザインのこと、費用のこと、場所のこと、期間のこと、詰めていかなければならないことも山積しております。そして、各都会と連絡調整をしながら、タイムリーな広報活動を推進していきたいと考えております。特に募金推進部会との連携は最重要であると思っております。来年春より本格的な活動を実施していけるよう詰めて行きたいと考えております。皆様の情報とお力添えを心から願っております。

お詫び

JUNGIDO8号で紹介しましたキャラクター・佳作入賞者の高橋さんのお名前が間違っておりました。ここに改めてご紹介いたしますとともに心からお詫び申し上げます。

- 昭和27年卒 高橋 判次さん
- 昭和59年卒 谷澤 一輝さん
- 膳所高3年 池上 剛さん



同窓会初のゴルフ大会に50名

同窓会事業部主催のゴルフ大会が、10月18日(金)信楽町のメイプルヒルズゴルフ倶楽部(大平忠良社長 膳所高昭和36年卒)で開催された。このゴルフ大会は、今回が初の試みで、各学年の理事を通じ同窓生に参加を呼びかけ実施されたもので、当日は、女性8名を含め50名の同窓生が集い、秋たけなわの一日、互いに旧交を温め、賑やかにプレーを楽しんだ。

また、プレー終了後、クラブハウスにおいて成績発表が行われ、熊谷誠三郎氏(東1回 昭和28年卒)が素晴らしい成績で優勝された。

今回は、来春に開催を予定していますが、詳細については同窓会事務局までお問い合わせください。



生物・山岳両班OB合同による恒例の年始山歩きのお知らせ

平成9年1月2日 午前10時〜午後3時
集合/午前10時 京阪本駅
行先/比叡山(コースは参加者と確認のうえ当日決定)
用意/昼食・雨具・その他(足元を固めてご参加ください)
連絡先/西川 幸三
大津市あかね町7-16
TEL 0775・22・1852

※当日連絡なく午前10時に集合なき場合は不参加とみなして出発いたします。昭和25年卒業以来続いている新年会です。お気軽にご参加ください。

周年同窓会予告

■昭和36年卒業(膳所高9回)

35周年記念同窓会

平成8年11月23日(土) 14時
会場 大津プリンスホテル
連絡先 松村 文夫
☎0775・22・1350

■昭和37年卒業(膳所高10回)

35周年記念同窓会

平成9年4月13日(日) 午前10時
会場 びわ湖上「ピアンカ」
集合場所 琵琶湖ホテルロビー
連絡先(事務局) 阪口 明
☎0775・45・5963
FAX 0775・43・2246

■昭和41年卒業(膳所高14回)

30周年記念同窓会

団塊の新段階―たのしく・粹に―
平成9年1月4日(土)
大津プリンスホテル
集まれ!アイデア
11/23 11/10時・12/7 19時・12/22 14時
於:膳所高同窓会事務局

■昭和60年卒業(膳所高33回)

卒業後はじめての同窓会です
(詳細は追って連絡します)
平成9年1月3日(金)
ロイヤルオークホテル
(大津市萱野浦23-1)

問い合わせ 澤 博史・澤 智子(旧姓 井上)
☎0775・33・4563
(夜10時まで)

携帯 030・865・5620

壮行会開催される

アトランタ オリンピック

昭和58年卒業の兵藤和行氏が今年米国アトランタで行われたオリンピックにヨットの部でソリング級の選手として出場しました。結果は19位と本来の実力を発揮することは出来ませんでした。同時に女子470級に出場した重、木下アリーシア組は見事、日本初の銀メダルを獲得し、日本のヨット競技が世界のトップレベルにあることを証明しました。

兵藤氏は昭和55年本校に入学と同時にヨットを始め同志社大学、オムロン(株)を経て、平成2年からヨットレースの頂点であるアメリカズカップにニッポンチャレンジャーの一員として挑戦を続けており昨年のキャンペーンが一段落したあとオリンピックに転じて参加したものです。レースはアトランタ南東300kmのサバンナという町の大西洋沖合いで行われました。ソリング級というヨットはオリンピックのヨット競技のなかでは最も大きいクラスで3人乗り、全長8・2M、重さ約1トンのヨットで出場の選手達は殆どがプロでヨット界では名だたる顔が集まっています。兵藤氏のオリンピックへの取り組みは昨年夏のアメリカズカップが終わってからメンバー(艇長の小松氏、クルー迫間氏、兵藤氏の3名)を組んだ事もあってやや時間がなすぎた中での参戦で今一つ波にのれなかったようです。比較的年齢の高いヨット界の中で同氏はまだ若手であり今後に期待したいものです。

なお、オリンピック出場を前にした6月15日に宇野勝同窓会会長、黒川治滋賀県ヨット連盟会長、秋山福夫京都府ヨット連盟会長、三井祥功日本外洋帆走協会近畿北陸支部長、堤章膳所高ヨット班OB会会長等が呼び掛け人になって壮行会が琵琶湖ホテルで盛大に行われ本校からも武原校長先生以下諸先生や多数のOB、ヨット関係者が集まり兵藤氏の健闘を祈りました。

(ヨット班OB会 事務局 深田敏雄)





4月27日(土) 於 膳所高校家庭科室

昭和16年、昭和23年卒業
「戦時下の膳中を語る」

昭和16年卒業の方から23年卒業の方、15名の皆様にお集まりいただき「戦時下の膳中を語る」というテーマでお話していただきました。

昭和12年盧溝橋事件、日中戦争開始、14年第2次大戦開始、16年真珠湾攻撃に始まる太平洋戦争を経て、20年終戦、そして戦後の混乱期、まさに戦中・戦後の苦難の時代に膳中生活を過ごされた皆様です。

司会：前田弘司先生が担当されました。

皆様お手持ちの写真・記録で記憶を掘り起こしたり、他の同窓生に問い合わせたり随分ご準備ください、生徒の側からの膳中の日常生活・教育状況を語ってくださいました。おかげで当時の日本の軍事情勢の経過、そのもとでの学校生活の状況や寮生活、当時の事情やことばの内容がかなり明らかになりとても有意義な座談会でした。

膳中の校友会新聞「遼義（昭和11年発行）の創刊号から最終号（昭和21年）までが50年振りに学校に返却されるという一幕もありました。終戦時に杉本一郎校長が進駐軍の目を逃れ教え子に預けられていたものだそうです。

勤務奉仕・教練・生徒動員・敵性語
在籍されていた年に幅があり、その間の日本の国の戦局により各人の学生生活もかなりの違いがありました。

一週2時間、教練はあったが多感な時期を沢山の友人と悪戯しながら概ね楽しく仲良く有意義な膳中生活を過ごされた。（16年卒）正規の授業を受けられた最後の学年だったと思われ方は「勤務奉仕はあったが、比較的自由的な空気の中で学べた。英語、数学、国語、漢文は相当内容の高い教育を受けた。4年の英語のテキストはシェイクスピアで国語も高度なものをやった。」「個性的な先生方

が多くベラルに教えられた。（19年卒）「厳しい教練は毎日あったが、4年の半ばからの動員に行くまで英語は週7時間ばかり習った。（20年卒）しかし、18年頃からは教練が増えました。（20年卒）刈りに取り出され授業は大幅に減り、生徒動員が始まった19年以降は授業どころではなくなりました。19年以降は徹夜で働いた。」「3、4年は動員で工場に赴き、終戦で復学してからは、運動場を元に戻したりグラウンドを燃やしたり運動場については思い出がない。」「終戦後は先生も混乱のみにて思い出がない。」「終戦後は先生も混乱のみ。それも半分は助産師業。（22年卒）入学早々1日1、2時間の勉強で農作業、体操、教練、工場での職工作業。工場ではB29の爆撃に遭った。勉強については、動員中はずっとたけれど、英語に強くなったのは、動員中では敵性語だからよく知らねばならない質問事項。（23年卒）

学校側からの質問事項は教育一般から八十年度の記述事項の具体的な内容及ぶまででした。

入学者選抜試験、日課・授業、成績順の座席、軍事教練の内容、成績評定、先輩後輩の関係、修学旅行、軍関係の学校（海兵・陸士・海軍・予科練）への志願・進学状況の推移、配属将校、運動会の種目、工場への勤務動員・通学方法、膳中報の教育などについてでした。その他、細かい事柄についても一人の記憶が他の方の記憶を連鎖反動的に呼び起こし具体的な内容が少すつづつ明らかにされてきました。

その他にも膳中生には苦手だった助産師業（稲刈り、麦刈り）、安土中への畑作作業のエピソード、行軍に近い遠足、膳中動物園と言われた個性のあふれた先生方、斐斐野での兵営訓練の思い出など伺いました。また敗色濃くなった昭和19年、予科練生を志願された方は「当時20歳で徴兵検査。死というものが目の前にぶらさがっていた。自ら志願していった。特攻隊も編成されていた」とその心境を語られました。また終戦時の個々の心境、感慨など貴重なお話も伺えました。

苦しかった体験をバネに
ある時は少年のように熱っぽく、あるときは淡々と語られました。戦争で苦しいだけだけれどもそれをバネにして今日まで来たという思い、過酷な時代だったが膳中で学んだ誇り、絆の強さは皆様共通のものと感じられました。

「至誠道義・自主力行、これは人間の生き方です。膳中に学んだから習ったのだし、年を取ってきて

この言葉の価値というのは私にはありがたいと思います。」「灰色の青春だったというものが感じられるんですね。その中でやはり青春謳歌もあったり希望も夢もあった。自我形成もあった」と回顧され感慨を述べられたのが印象的でした。」と大方の皆様が現役で活躍中です。羽野校友課課長と上野部長からお礼と今後とものご協力をお願い下さった貴重な写真や資料等は今日の座談会の内容と併せて百周年史編集に大いに活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

出席者
大坪 武輝 矢野勝次郎 (膳中39回卒)
影山 誠三 小山 純明 (膳中40回卒)
成宮 穰 吉田幸二郎 (膳中41回卒)
村田 昇 門馬 三郎 (膳中42回卒)
岩崎 栄三 (膳中43回卒)
西村 隆夫 三品徳之助 (膳中44回卒)
今井 守男 (膳中45回卒)
池田 薫 山本 茂雄 (膳中46回卒)

学校側
羽野 正孝 前田 宏司 山本 雅彌
福井 浩 谷澤 一輝
同窓会側
上野 滋子 佐田 葉子 河村 泰男
宮崎 美恵 堀井 清子 花坂多恵子

(花坂)



6月29日(土) 於 膳所高校家庭科室

昭和24年、昭和27年卒業
「新制高校発足時の教育を語る」

昭和24年旧膳所高校卒業、同年旧大津高校卒業の方から昭和27年大津高校卒業の方まで14名の同窓生にお集まりいただき「新制高校発足時の教育を語る」というテーマで座談会を開催しました。

戦後の学制改革の概要を紹介いたします。

OB近況報告

膳中25回卒 林 廣一さん
「膳中時代の思い出を語る」座談会に膳中25回卒林廣一さんにお集まりいただきありがとうございました。体調がすぐれないとのこと、お宅へ伺いお話を聞かせて頂きました。

明治41年生まれ、今年88才で米寿を迎えられ、80才まで歯科医として活躍されており、膳中時代のことを詳しく話していただきました。

寄宿舎生活
寄宿舎は新築と旧寮があり、550人くらい入寮していた。提校長時代までは大津市を除き全寮制であった。近江八幡・木之本・虎姫、遠くは敦賀・小浜からも入寮し優秀な生徒が多かった。中山校長時代より下宿が許され、大津市外からの通学も認められた。しかし全校生徒の半数は寄宿舎生活であった。

24年度は6人から8人、室長は5年生。1、2年生は夏は蚊帳をつたり、冬は鉄火鉢に炭を入れて、これが一番いやなことであった。3年生はただ寝ておくこととくわいのことであった。

朝食後の45分と夕食後の45分の2回、自習を行い9時に終了し、9時半に消灯、就寝していた。服装はつめえりでケートル、風邪をひいたりして洋服を変える場合、舎監に「異装届け」を出した。

和感はあるとも与えられた場所、場所が活発に楽しんだということでした。大津高校時代は、授業は複雑なカリキュラムに沿って毎時間ごとに、教室から教室への大移動。「本日に民族の大移動みたい」に休み時間の度に7、8人がいる教室へ移動した。「プランク」の本来の意味も明らかになりました。月曜日から土曜日まで自分で科目を選択して埋めていく際に、余裕ができて空いた時間をプランクと呼ぶのが余々の意味だそうでした。

その他、制服と服装、選択制の実態、通信簿、卒業式の模様、学園祭の様子、修学旅行などについても内容が確認されたり、新しい事実が明らかになったように思われます。その他には、石ころを布でくんだボールと机の足をバットに野球をした話、持参されたワラ半紙一枚の通信簿など、物資不足の当時に思いを馳せた場面もありました。驚いたり、笑ったり、感心したりと瞬間に3時間が経過しました。

羽野先生の挨拶の後、上野部長からお礼と今後とものご協力へのお願いの言葉で座談会は閉会しました。

皆様には社会の第一線で活躍中です。ご多用の中、ご協力いただきまして感謝しています。西宮・池田・豊田市などの遠方からもご参加いただきました。また女性の方々のご参加があり女性の視点での体験や感想も伺え大変楽しく貴重な座談会でした。今後の百周年史編集に大いに活用していただけることと思います。

ご協力ありがとうございました。

(花坂)

- 出席者
橋本 茂昭 本庄 隆 (膳所高校卒)
金原 京子 北村 幸子 (旧大津高校卒)
大塚 義孝 宮下美智子 (膳中41回卒)
西川 幸三 丹波 道明 (膳中42回卒)
中井清八郎 太寿堂綾子 (膳中43回卒)
辰巳千代子 (膳中44回卒)
井上 欣也 北村 広次 (膳中45回卒)
久保田三千代 (膳中46回卒)
- 学校側
羽野 正孝 前田 宏
同窓会側
山本 雅彌 福井 浩 谷澤 一輝
上野 滋子 佐田 葉子 河村 泰男
宮崎 美恵 花坂多恵子



4月27日(土) 於 膳所高校家庭科室

1時間あまりお話を頂きました。お身体のこともあるのですが、失礼させていただきます。」「人生80年吾が足跡」という本を今年自費出版され、膳中時代の写真と記事がのせられております。

(宮崎)

「お名前広告」募集しています。
掲載内容／卒業年度・卒業回
勤務先・お名前・住所・TEL／1枠一万円
お申し込みは同窓会広報部まで

卒業年	納入者数	納入金額合計
大正9年(膳中)	2名	6,000円
大正10年(膳中)	1名	3,000円
大正11年(膳中)	3名	9,000円
大正12年(膳中)	3名	9,000円
大正13年(膳中)	3名	9,000円
大正14年(膳中)	7名	21,000円
大正15年(膳中)	4名	12,000円
昭和2年(膳中)	5名	15,000円
昭和3年(膳中)	6名	18,000円
昭和4年(膳中)	8名	24,000円
昭和5年(膳中)	6名	18,000円
昭和6年(膳中)	13名	39,000円
昭和7年(膳中)	8名	24,000円
昭和8年(膳中)	19名	57,000円
昭和9年(膳中)	16名	48,000円
昭和10年(膳中)	23名	69,000円
昭和11年(膳中)	19名	57,000円
昭和12年(膳中)	26名	78,000円
昭和13年(膳中)	19名	57,000円
昭和14年(膳中)	28名	84,000円
昭和15年(膳中)	37名	111,000円
昭和16年(膳中)	32名	96,000円
昭和17年(膳中)	35名	105,000円
昭和18年(膳中)	61名	183,000円
昭和19年(膳中)	48名	144,000円
昭和20年(膳中)	131名	391,000円
昭和21年(膳中)	7名	21,000円
昭和22年(膳中)	69名	207,000円
昭和23年(膳中)	9名	27,000円
昭和24年(膳中)	37名	111,000円
昭和24年(旧膳所)	22名	66,000円
昭和25年(大津東)	116名	348,000円
昭和26年(大津西)	39名	117,000円
昭和27年(大津南)	107名	321,000円
昭和28年(大津東)	162名	486,000円
昭和29年(大津東)	160名	480,000円
昭和30年(大津東)	175名	525,000円
昭和31年(大津東)	177名	531,000円
昭和32年(膳所高)	104名	312,000円
昭和33年(膳所高)	120名	360,000円
昭和34年(膳所高)	131名	393,000円
昭和35年(膳所高)	119名	357,000円
昭和36年(膳所高)	119名	357,000円
昭和37年(膳所高)	121名	363,000円
昭和38年(膳所高)	121名	363,000円
昭和39年(膳所高)	117名	351,000円
昭和40年(膳所高)	107名	321,000円
昭和41年(膳所高)	69名	207,000円
昭和42年(膳所高)	95名	285,000円
昭和43年(膳所高)	74名	222,000円
昭和44年(膳所高)	74名	222,000円
昭和45年(膳所高)	76名	228,000円
昭和46年(膳所高)	69名	207,000円
昭和47年(膳所高)	57名	171,000円
昭和48年(膳所高)	71名	213,000円
昭和49年(膳所高)	75名	225,000円
昭和50年(膳所高)	52名	156,000円
昭和51年(膳所高)	41名	123,000円
昭和52年(膳所高)	51名	153,000円
昭和53年(膳所高)	51名	153,000円
昭和54年(膳所高)	52名	156,000円
昭和55年(膳所高)	41名	123,000円
昭和56年(膳所高)	51名	153,000円
昭和57年(膳所高)	53名	159,000円
昭和58年(膳所高)	53名	159,000円
昭和59年(膳所高)	53名	159,000円
昭和60年(膳所高)	42名	126,000円
昭和61年(膳所高)	51名	153,000円
昭和62年(膳所高)	52名	156,000円
昭和63年(膳所高)	54名	162,000円
平成2年(膳所高)	49名	147,000円
平成3年(膳所高)	48名	144,000円
平成4年(膳所高)	59名	177,000円
平成5年(膳所高)	44名	132,000円
平成6年(膳所高)	9名	27,000円
平成7年(膳所高)	13名	39,000円

(平成8年9月30日現在)

卒業年別平成8年度
同窓会費納入状況



周年記念同窓会

20周年記念同窓会 (膳所高24回)

残暑厳しい8月16日石山駅前万里にて、旧3年2組卒業20周年記念同窓会を開催いたしました。恩師西池季節先生をはじめ、女性11名男性12名、計24名の出席を頂き盛大かつ厳粛に祝宴が始まり、各氏の自己PRや級友のギター伴奏による70年代流行歌の熱唱と、瞬間に3時間が過ぎ、記念撮影、校歌斉唱(3番まで)最後にエール一発で締めくくり、二次会三次会へとついつまでも昔話に花が咲きました。



今回は3年2組の単独クラス会でしたが、S51年卒同窓生の方で合同クラス会に興味をお持ちの方、また他クラスの幹事予定の方は、次期幹事今村氏までご一報下されれば幸いです。(酒井 清裕)

連絡先 今村信教(しんきょう)
住所 千歳 滋賀県甲賀郡水口町三三寺866
電話 0748-62-3463

ななしの会 (大津高1回)

恒例の「ななしの会」旅行、今年は9月7、8日に「出雲路 玉造温泉の旅」と銘打って挙行了しました。男性23名女性27名の参加があり、依然として女性上位ではありますが男性の参加が多かったのが目立ちます。



コースは清水寺(安来市郊外)、玉造温泉、松江、美保関、境港と、少し欲張りでした。こんな事が計画できたのも米子自動車道路(落合、米子)が開通したおかげでしょう。前日まで雨模様でしたが、当日は晴れ、翌日からまた雨とラッキーな二日間、大いに盛り上がり皆さんそれぞれに出雲路の旅を楽しんで頂けたと思います。

なお来年(九月上旬予定)の幹事は、岡角さん、荻原(旧姓 立和)さんです。その節には奮ってご参加の程を。

幹事 須佐見、青木(旧姓 山名)

40周年記念同窓会 (大津東4回)

還暦を前にして、晩節を全うすべく……

5年ぶりに、私たち昭和31年卒業の同期会は、平成8年9月22日(日)午前11時より、大津プリンスホテル「淡海」にて、2組担任の北條勇先生、3組担任の中山弘先生、4組担任の岡田節夫先生をはじめ、石井義雄先生、松山義夫先生、南光雄先生の6名の恩師の先生方のご臨席を仰ぎ、百十五名の同期生の参加を得て盛大に行われました。式典の部では、今回もまた辻滋世君の司会により、まず「東四」同窓会長橋本夫が、事業報告をかねて開会の挨拶を行った後、校歌「瀧瀬の湖」を斉唱、引き続き、今は亡き、9組担任の波多野久男先生と、8名の同期生諸君のご冥福を祈って一分間の黙祷を捧げました。高城宗求君にカメラマンをお願いしての参加者一同の記念写真撮影は、いよいよ正午よりパーティーの部に移りました。

冒頭、恩師を代表して松山義夫先生よりお祝辞を賜った後、恩師紹介、記念品の贈呈を経て、中山弘先生のご発声により乾杯、会食に入りました。と、あつという間に40年前にタイムスリップ、気心のあつた者どうしの話の輪がごちこちに出て、歓談は大いに盛り上がりました。宴たけなわにして、「琵琶湖周航の歌」が大合唱。司会の辻君により今回ご出席いただけなかった恩師の「ひとこと」も披露されて、宴も終わりに近づき、全員で「道遠歌」を合唱。5年後にまた会いましょう、との村田光夫君の閉会の辞にて、午後3時前までにたくお開きとなりました。



別れ難き面々は、チャーターバスにて、外村信義君の肝入りで特別に開けてもらった、浜大津は川口公園前の比較山ビル5階の「バーディー」に直行、その数なんと85名。立錫の余地なき盛況で、なお話に華が咲き、やとカラオケができるようになってからは、三次会になつてからでした。去り難き気持ちを抱きつつ、再会を誓い合せて散会したときには、午後8時を回っていました。(椿 鏡夫)

プレ50周年同窓会 (膳所46回・旧膳所高)

一 再来春の卒業50周年での再会を

私達は最後の膳中卒業生(学制改革で旧膳所高3年に編入、二度卒業した者も多い)で、5年生の昭和24年秋創立50周年の記念行事があったが、詳しい記憶は薄れた年輩である。

再来年の母校創立百周年は、私達の卒業50周年でもある。

その記念同級会事業の相談もあって「プレ50周年同

級会」と銘うち、7月20日石山船岩にて69名の参加を得て盛會裡に開催した。

記念写真撮影のあと、49名の物故者の追悼法要を学友天台宗大僧正大角光徹師の導師により厳修、世話役代表中井善作君の挨拶に続き、関東・関西両地区同級会、ゴルフ同好会代表からの活動報告後、50周年記念同級会事業を提案、協議の結果、同級会は平成10年遺囑桜の満開の頃に、記念事業は記念誌(膳中時代の回顧録、想い出の写真等)の発刊などが内定された。

既に第二の人生を歩む者が多数で、白いものが増え生え際が後退したりで名札を頼りに心は膳所時代に逆流、歓談に大輪が咲き、旧交を温め合った。最後の校歌「草むす城は」の大合唱は感動的で、母校愛と同期の絆を再確認しつつ再来春の再会を誓い散会した。(田中 健二)



昭和27年卒業同窓会 (大高3回)

平成8年9月29日、昭和27年卒業生の同窓会が京都東山の都ホテルにて開催されました。出席者6名、なつかしい恩師の笑顔と美しい京都の風物で構成された歓迎ビデオ(千本木亮三郎さん制作)で開幕しました。

和田泰三さんの名司会で進行。まず、物故者に黙祷を捧げました。京都世話人代表辻鉦太郎さんの丁寧な開会の辞に続き、北野病院産婦人科部長井上欣也さんから「中高年の健康」についてユーモアあふれる講演がありました。特に「若さと健康の秘訣はいつまでも恋心を失わないこと盛りに上がりました。



遠来の川端藤吉郎さんと吉田樹美子さんの発声で乾杯。盛りだくさんのお料理をいただきながら、にぎやかに和気あいあいの歓談となりました。最後に熊本悦子さんのリードで琵琶湖周航の歌と高校三年生を全員で合唱し、藤井賢三さんの力強い閉会の辞があり、固く再会を約して散会しました。

高校時代にかえっての楽しいひとときは、あまりにもはやく過ぎましたが、四人の同窓生カメラマンによるミニ写真集が、良い思い出になることでしょう。ご出席の皆様、ありがとうございました。次回は更に多くの同窓生にお会いできるのを楽しみにしています。(土方 暁子)



真珠会 (旧大津)

6月16日、第7回真珠会が梅雨晴れの一日、山科の佳楽で行われました。松山先生をお招きし、16名が一年振りの再会に、胸をはずませておりました。



この佳楽さんは、純粹の京料理をはじめ、春夏秋冬すばらしい風情のある、お庭がございます。作られた方は、平安神宮のお庭も作られた、有名な方だと聞いております。由緒ある美しいお庭の見える一室で、変らぬ熱のこもった松山先生のお話しや、記念写真を撮ったり、お庭を散策したり、又、美味しい京料理に、舌つづみを打ちながら、学生時代に戻った錯覚にとらわれながら、楽しい一日を過ごしました。予定時間も迫り来年的にお出合いを、約束しつつお別れしました。松山先生のお元氣なお顔を接し、皆様若々しいご様子を見せながら、幹事としての責任を終えた安堵感に浸りながら、帰路に着きました。(松村信久子)

膳中39回有志の会

39回生は昭和16卒127名と二三四修を含め146名を対象としているが、物故56名中実に21名の戦没者を出している。平成6年9月戦没物故者50回忌大法要を盛大且厳肅に施行したが、更に有志による靖国神社参拝をよびかけた処今年5月16日17名が参集(関西より10名関東在住7名)有意義な昇殿参拝を挙行出来た。当日一般の人が参る拜殿に参上お慰みを受けた後、玉砂利の中庭の左側を回り本殿に参上、御神体(金属の大鏡)のすぐ御前に進んで拝礼した時の心境は何回参っても何とも云われぬ清らかな厳かなもので、一人一人英姿を思い浮べて「只今御前に参っております」と言えはいつこり笑って「よく来てくれた」と云わんばかりに思えた次第である。遺族会や戦友会で何回も体験した人もあつたようだが、多くは昇殿参拝は初めてという人たちがよい体験をして頂いたようである。昨今天皇陛下や首相さえもなかなかな参つてくれぬ時代、せめて昔の仲間我々だけでも機会を作つて今後参つて上げたいものである。



その後東西交流懇親会を開催、中には卒業以来という顔合わせもあり話は時局談から昔のエピソード等、時のたつのも忘れて語り合い再会を約して名残り惜しい別れをした。(山根 晋)

紛らわしい名簿調査にご注意を！

「遵義堂」6号でもお知らせしてありますが、その後も類似の調査が行われていますので、再度ご注意ください。

「膳所高校同窓会名簿刊行」とか「膳所高校同窓名鑑刊行」などという名目で、往復はがきで調査や購入勧誘があり、中には、かなりプライベートな調査項目が含まれているものもありました。はがきの文面には、「この出版は学校・同窓会とは関係ございませんが」という断り書きがわかりにくく書き添えてありますが、なかなか目につきにくく、事務局や学校に問い合わせのお電話やお手紙をいただくことがありました。

また、電話を利用しての新しい手口も生じました。「膳所高校の事務室の〇〇ですが」とか、「膳所高校の進路課の〇〇ですが」とか、虚名を名乗って、「進路先や就職先を調べる」ということが発生しました。これは、新聞の報道でもありましたように、県関係のアンケートのためといって調査した手口と似ています。中には、商品を送りつけられ、取り消しが出来ず

困ったという例もあつたようです。これらに対して、同窓会各位が不愉快に思われたことも多々あると思いますが、事務局としては対応が難しく、学校当局も困惑しております。

今後こうしたケースが続くかと思われ、今後、会員各位におかれましては、次のことにご留意いただき、十分にご注意ください。

- ① 本校の同窓会の名簿の刊行は、平成10年の予定です。
- ② 名簿に関する調査は各回の理事が行ったり、はがきによる全体調査になると思えます。前者の場合はご存じの方からの連絡ですし、後者の場合は、回収先の宛名が「大津市膳所二丁目十一番一 号 滋賀県立膳所高等学校同窓会事務局」となります。
- ③ 調査内容も、「氏名」・「住所とその電話番号」・「勤務先とその電話番号」という程度です。

会費未納の方へ

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成8年度年会費納入のお願い

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。
平成8年度会費未納の方は同封の振替用紙にて納入ください。
なお、住所等に変更がある方は振替用紙にご記入をお願いいたします。

記

〔会費額〕	年会費	3,000円
	5年会費	15,000円
	10年会費	30,000円

いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。
新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕（振替用紙は共通です。）

郵便局	01010-3-30378
銀行	滋賀銀行 本店 (110) 普 913381 びわこ銀行 本店 (111) 普 335940

いずれも名義は、
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。

※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。

●お詫び

平成8年度会費を複数年度としてすでに納入していただいている方に対して、今年4月に発行しました「JUNGIDO」第8号に、未納者として振込用紙を同封するという事務上の不手際が起きました。若干名の会員の皆様には大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後このようなことの起きないように十分に注意いたします。

同窓会費の会計年度は、4月1日より翌年3月31日となっております。

そのため単年度会費を収めていただいている方については、4月発行の春号では新年度会費納入用の振替用紙をお送りし、10月発行の秋号では4月から9月までの未納者に対して振込用紙を同封しております。

ただ「JUNGIDO」発行直前に納入いただいた場合は、行き違いで振込用紙をお送りすることもありますので、悪しからずご了承ください。

100周年も近づいてまいりました。今後とも会費納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

事務局日誌

■同窓会旗制作！

膳所高同窓会旗ができました。（厳密には制作中・この号が皆様のお手元に届く頃には完成）
同窓会総会等には学校から借用して使用しておりますが、同窓会専用の校旗が必要ということで新たに5枚制作しました。

内2枚は、270cm×400cmの大きな旗で、主として100人を越えるような大きな会場に使用するものです。小さい3枚は、120cm×180cmで、小規模の会場として制作しました。

もちろん同窓会、同級会等のご希望があれば貸し出しします。

旗は紫地に白抜きで校章と名前（滋賀県立膳所高等学校）が描かれています。同窓会という名前は使用しておりません。
借用ご希望の方は同窓会事務局までご一報ください。

■平成8年度同窓会会務報告

1996年	5・12	理事会 (181名出席)
4・10	5・12	会計監査 同窓会報
4・15		同窓会報 [JUNGIDO] 第8号発行
4・20	5・21	第7回役員会 同窓会総会 (255名出席)
		部会長・総務部 合同会議
		役員会
		総務部会
		総務部会
		組織部会
		役員会
		広報部会
		広報部会
		広報部会
		同窓会報
		[JUNGIDO] 第9号発行

■事務局に新スタッフ！

100周年を2年後に控え、事務局体制の充実をはかっております。その一環として新たに女性スタッフ2人が加わりました。寺嶋英子さん（膳所21回卒）と松村範子さん（膳所29回卒）の両女士です。この両女士は従来から在職の若代さんに加え、3人でローテーションを組み、基本的に月1土曜日の午前11時より午後4時30分までは事務局に所属して、同窓会の諸事務や100周年関係の処理等を行っております。

住所変更、同窓生の消息、同級会の案内等、色々お手伝いさせていただきます。ご一報ください。

同窓会・同級会の案内に必要な住所氏名のタックシールの打出し等、コンピューター処理もあわせて行っております。どしどしご利用ください。ただし用紙紙等の実費はいただきます。

■御礼

「JUNGIDO」第8号に寄稿いただきました、株式会社不二商事、代表取締役、馬場利一さんより、同窓会のお役に立てばと5万円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

●がんばってます！

昭和31年卒業（大津東4回） （株）中村組 代表取締役 中村 修己 大津市晴嵐1丁目11-16 TEL 0775-37-1361	昭和31年卒業（大津東4回） 東京いすゞ自動車(株) 専務取締役 黒崎 輝久 船橋市大穴南1-26-7	昭和41年卒業（膳所高14回） 山元整形外科医院 院長 山元 暁 大津市膳所1丁目13-13 TEL 0775-21-5870	昭和41年卒業（膳所高14回） 若代音楽事務所 代表 若代 孝三 （コンサートの企画・演奏ひきうけます） TEL 0775-25-0014	昭和41年卒業（膳所高14回） 自立就労センター「パレット・ミル」 代表 中山みち代 栗太郡栗東町観音寺目白139番地 TEL 0775-58-4500
------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------



100年史編纂室より

前号でお伝えしました通り、学校側では百年史の編纂事業の一つとして教育史をまとめております。「修学旅行の変遷」「全入クラブの実態」「実考の変遷」「班活動成績一覧」など、各教員が何らかの取材に当たるように役割を分担して、古い資料をここでひっくり返しています。

前号で津高時代の不明点を教えていただきたいと書きましたところ、6月29日に津高時代の卒業生の方の座談会を開催していただき、当時の教育事情がかなりつかめるようになりました。今回も作業状況の報告と言うよりは情報提供の依頼になってしまいますが、以下のようなことがはつきりわからず弱っておりますので、ご存じの方はどうか同窓会事務局までご連絡下さい。今回は比較的近年の話題を集めてみました。

- ・共通一次初年度を受験するにあたって、当時どんな受験指導を受けたか。
- ・昭和50年代に1年だけクラス制の学園祭を実施したが、参加した生徒としての感想・問題点。
- ・1年生の宿泊オリエンテーションについて、学校の敷地内に宿泊していた頃のオリエンテーションはどんな様子であったか。
- ・全入クラブが水曜日?の7限から姿を消したのはいつのことか。
- ・3年生の時、夏休みに補習を受けたのはいつの学年からか。また、初年度の補習の内容はどんなものであったか。
- ・体育で柔道・剣道・ダンスなど、個人により種目選択が可能になったのはいつからか。
- ・生徒会長選挙の時期を5月から10月に変更した際に生徒会側で苦労した点は何か。
- ・授業の開始を知らせるチャイムが現在のメロディーを奏するタイプのものに変わったのはいつか。また変更した理由は何か。
- ・現在の野球班などの2階建てクラブボックスが設置されたのはいつか。
- ・中庭にペンギンの置き物が現れたのはいつのことか。誰が持ってきたのか。(あまり教育とは関係ありませんが、知りたがる人が少なくありませんので取り上げてみました)

設備や行事に関する質問が多くなってしまいました。単に教育の変遷を追いかけるだけではこの高校とも似通った内容になりかねません。重要なことは膳所高らしい思い出と密接に結びついた教育の姿を再現することではないかと思ひ、少しでも内容にも触れてみました。「そんなことぐらい誰か知っているだろう」とお思いになるかもしれませんが、今勤めている教員にとっては不明な点も多いものです。ご存じの方はどうかご協力をお願いいたします。

教育史担当 谷澤一輝 (膳高32回)



編集後記

今年に残暑も少なくいつの間にか秋本番になりました。広報紙「JUNGIN」も早や第9号です。あと1号で10号の大台ですがマンネリにならぬよう充実した内容にしたいものです。インターネットなどいろいろなメディアが生まれていますが、情報を「受信」するだけでなく、どんどん「発信」していきたいものです。この紙面をその場に活用していただければ幸いです。(M・Y)

● 本会報も100周年に向けての関連記事で紙面が埋まってきました。100年という年月は形ある物では本物のアンティークと呼べる境目です。古い物に対してはその時代に作られた背景や使われた状況を慈しむことを大切に想うように、母校の歴史を知ることができるとはとても貴重な機会です。歴史を大切に想う気持ちと、それを知って今に活かすことを学びたいですね。(M)

- 上野滋子 (東2) 谷口啓司 (膳10)
- 田中美津代 (東4) 佐田葉子 (旧大)
- 山田 勲 (膳11) 宮崎美恵 (東4)
- 西谷智恵子 (東2) 高橋好乃 (膳3)
- 花坂多恵子 (膳6) 服部 章 (膳12)
- 岩崎則子 (膳26) 吉田 稔 (膳26)
- 福井 浩 (膳29) 谷澤一輝 (膳32)
- 松田和代 (膳33) 本多美香 (膳33)



理科教科の設置について

平素は、本校教育に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。今般、平成9年度より理科教科の設置が決まり、現在、開設を目指して鋭意準備を進めております。

つきましては、経緯や本校の目指す理科科について、会員各位にご報告申し上げご理解とご支援を賜りたいと考えています。

さて、本校理科教科の設置の経緯は次のとおりであります。平成6年度に学校教育改革の一貫として、県教育委員会より県下各校に、総合学科、単位制、理数科、英語科等特色ある学校作りの検討が要請されました。本校においても教育改革を検討する中、理数科について研究することになり、他府県先進校(24校)を訪問し、理科教科の現状や課題について学習を続けてきました。

その中で、広く県内から人材を求め、二十世紀の科学技術の研究・開発や医療の進歩等に指導的な役割を果たしうる人間を育成し、社会の期待に応えて行くため、また、本校の現状を考えたとき、理系希望者が6割強を占めていること、卒業生各位がそれぞれの分野でリーダーとして活躍されていること、物理地学班が総理大臣賞等の実績を残していること等素地は十分にあると考へ理科(1学級)設置を受け入れることになりました。

ところで、本校理科教科のあり方を考えますとき、本校の長い歴史と素晴らしい伝統を顧み、理数科の設置が普通科をより活性化し、二学科が共存し、互いが切磋琢磨して本校が一体として発展することが大切であります。また、二十一世紀の中核的なりとを世に送り出すためには、幅広い教養と豊かな心をもち、時代や社

会の変化に対応できる柔軟な思考力を持った人間を育成することが大切であります。

そこで、理科科の指針として

- ① 科学的な見方、数学的な考え方のできる人間の育成。
- ② 調和のとれた創造性豊かな人間の育成。
- ③ 理系大学の進学を主眼とした高度な学力の確保。

を掲げ、文系教科も大切にしながら、二十一世紀の科学技術を担いうる人間の育成に努めたいと考えています。

教育課程上は理科・数学に偏重することは避け、普通科理系と比較して数学と理科の時間数が2/3時間多いが、英・国は変わらないカリキュラムを作成しました。また教育上の特色として理科科に課せられている課題研究(10/20時間をかけて研究する)や大学へ出向き環境問題や先端技術を学ぶ、大学・社会人の講師を招きリアルタイムでの社会の実状や将来のあるべき姿を知る、企業・研究所の見学を通して科学技術の今日を見るなどの行事を通して、裾野の広い人間を育成したいと考えています。

9月5日、9月14日に学校説明会を開催し、中学生・保護者、中学校へ学校生活、学習指導、進路指導、教育課程等の説明と理科科の紹介をしました。説明会には550名の出席者を得て盛会の内に終了することができましたが、本校への県民の期待の大きさを改めて感じました。職員一同一層気を引き締めて日々の実践に邁進したいと決意しております。

(教頭 久木 一男)

新しい学園祭

皆が楽しんでしかも文化祭・体育祭の名にふさわしいものを作るにはどうしたらよいか。4月、総務部は例年とくくぶん掛け離れた、従来のブロック制に加えてクラス単位の発表を盛り込んだ原案を提案しました。毎日のように生徒議会議が開かれ、結局例年の学園祭に近い形に収まりましたが、この提案は学園祭に対する意識を高め、今年の学園祭は今までとは違うものにするんだという明確なイメージが生まれたようです。

例年評価の分かれる宣伝部門の発表がなくなり、あつさりしたオープニングが始まった文化祭は、模擬店が昨年比で格段に数が減ったため、多少寂しく感じましたが、その分ステージ発表が人を集め、また、イベントもお化け屋敷等のほかに、新しい試みであるドミノが人気を集めるなど新しい傾向を示しました。今年が目玉であるビッグアート部門も大成功。ブロックにとらわれない総勢99名という大人数の集まりなので、当初は、どこで製作作業を行うのか、一斉に集まれる場所があるのかなど様々な問題が指摘されましたが、何とか乗り越えて文化祭当日には巨大な鳩の立体展示を中庭に見ることができました。体育祭でも、様々な問題が生じたものの、最後にはブロック長の感動的なエンディングセレモニーで無事幕を閉じることができました。

わたしはこの学園祭でたくさんの方々にお助けいただきました。人と人の交流の暖かさを実感しました。たくさんの方々の問題を残してしまいました。今後全校生徒でその問題に取り組みめるような、そんな雰囲気を作られたことを嬉しく思っています。

(生徒会総務部長 鍋島 由希)

班活動報告

- 灌漑班 インターハイ 舵手付きフォア 準決勝進出
- 夏期団体 ダブルスフォア 準決勝進出
- ヨット班 インターハイ 男子FJ級ソロ 27位
- 男子デュエット 26位
- 陸上競技 後援正雄(2年) 優勝
- テニス 県高校選手権大会(2年) 優勝
- 同好会 インターハイ出場 個人 柴原大樹(3年)
- バドミントン 同好会(2部) 優勝
- 放送班 NHK杯全国高校コンテスト
- カルタ班 NHK杯全国高校コンテスト
- 英語班 朗読・アナウンスの各部門出場
- 清原茂史(2年) 3位
- 全日本バレー杯 個人D級
- 英語スピーチコンテスト関西大会出場
- 松田和代(2年)

